

9 園児の概要

(1) 令和8年度 園児数

年 齢 (組名)	男	女	計
3歳児 (もも組)	1	0	1
4歳児 (りんご組)	1	0	1
5歳児 (ぶどう組)	3	3	6
合 計	5	3	8

(2) 園児数の推移

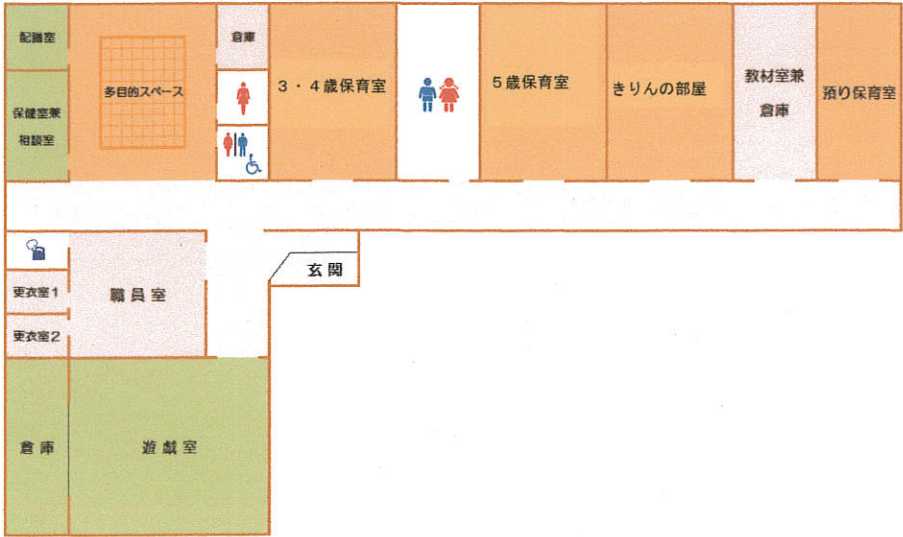
年度	S54	H 元	H10	H20	H25	R 4	R 5	R 6	R 7
3歳					9	2	3	5	1
4歳	52	31	24	9	9	4	2	3	5
5歳	52	34	35	17	10	5	3	3	3
合計	104	65	59	26	28	11	8	11	9

10 職員組織

職 名	氏 名	担 任 等	着 任 年 月 日
園 長		園経営	
主任教諭		3・4歳児，特別支援コーディネーター	
講 師		5歳児	
講 師		預かり	
園 医			
眼科医			
耳鼻科医			
歯科医			
薬剤師			

11 園舎配置図

構 造：鉄骨造平屋建
建築面積：697.25m²
床 面 積：620.25m²



令和 8 年度

幼稚園要覧



井原市立荏原幼稚園

〒715-0003

岡山県井原市東江原町2788番地1

電話・FAX0866-62-3971

- 1 設置者

井原市
- 2 管理者

井原市教育委員会
- 3 沿革

昭和23年 4月 荏原小学校併設幼稚園

昭和28年 4月 井原市立荏原小学校付設幼稚園と改称

昭和39年 4月 井原市立荏原幼稚園と改称

昭和42年 1月 本地へ園舎落成し、移転

昭和50年 4月 2年教育実施

昭和53年 4月 園舎増設（保育室2・便所1・職員室1）

平成 9年 8月 トイレ水洗式

平成22年10月 給食実施開始

平成24年 7月 旧園舎解体工事開始・仮園舎へ引っ越し

平成25年 3月 園舎落成

平成25年 4月 3年教育 及び 預かり保育実施

平成28年10月 井原市幼稚園教育研究発表会を開催

4 学区の概要

(1) 学区の特性

井原市は岡山県の最南西部に位置し、その東端に本学区があり、神代町及び東江原町を学区とする。幼稚園の北東方向の東江原町と神代町境に標高172.6mの高越山があり、その山頂には戦国時代の武将北条早雲（伊勢新九郎盛時）が本拠地とした高越城の遺構がある。南部には平地がひらけ、中央を東西に貫く国道486号線を取り囲むように団地や工場、田園地帯がある。最南部には1級河川高梁川の支流小田川が西から東に向けて流れている。また、平成11年には井原線が開通し、「早雲の里荏原駅」が設置された。

(2) 面積・人口（R8.4.30）

学 区	面 積	人 口	世 帯 数
荏 原	7.83km ²	2,065	961

5 本園教育の進め方

(1) 教育目標

○心豊かで たくましく生きる 子どもを育てる。
・やさしい子ども ・げんきな子ども ・がんばる子ども

(2) 教育方針

- ① 一人一人の発達や特性を把握し、個に応じた援助をしながら、基本的生活習慣の定着や集団生活の適応を図る。
- ② 主体的に身近な環境（人・もの・こと）に関わり、自分の力を発揮しながら遊ぶ中で、生きる力の基礎（知識及び技能の基礎・思考力、判断力、表現力の基礎・学びに向かう力、人間性等）を育む。
- ③ 家庭や地域、小学校との連携を図りながら、豊かな生活の中で、健やかな体と心や自立心を育む。

(3) 経営の重点

- ①自主性・社会性の育成
 - 一人一人の発達や個性の違いを認め、幼児が伸び伸びと自信をもって生活できるようにするとともに、主体的に判断し活動する力を養う。
 - 幼児が主体的に活動できる環境を工夫し、遊び込む中で学びの芽を育む。
 - 身近な自然や動植物、人とのふれあいを通して、豊かな感性や望ましい人間関係の基礎を培う。
- ②健康・安全教育の推進
 - 家庭との連携を密にし、基本的生活習慣の定着や食習慣の形成、生活リズムの向上を図る。
 - 身体を動かして楽しく遊ぶ中で、運動能力や感覚機能を高める。
 - 安全のために必要な事柄について理解させ、生命の尊さを自覚して安全な生活を送ることができる態度や習慣を養う。
- ③地域とともにある幼稚園教育
 - 地域や小学校・保護者との連携を密にし、幼稚園教育に関する理解が深まるようにするとともに、小学校への円滑な接続を図る。
 - 保護者や地域の人材活用をするとともに、幼児が地域の自然や文化に触れて、豊かな自然体験や生活経験を得ることができるようにする。
- ④指導体制の確立
 - 教職員としての使命を自覚し、指導力の向上と創意工夫を凝らし、全職員で協力してよりよい教育環境をつくり出すようにする。
 - 職員間で情報を共有し、共通認識のもと、組織的に一貫性をもって教育実践に努める。
 - 業務の削減や効率化等の働き方改革を推進して、研修時間を確保し、専門的知識や指導力を身につけるとともに職員の人間性や創造性を高め、質の高い教育活動を行うことができるようにする。

- 6 研究主題
- 人やもの、自然との関わりを通し、互いの思いや考えを出し合いながら遊ぶ幼児の姿をめざして 一環境構成と教師の援助のあり方一

7 主な行事

春：こいのぼり会・運動会・定期健康診断・給食試食会
夏：七夕会・PTA人権教育研修会
秋：食育参観日・バス旅行・日曜参観日・学芸会
冬：クリスマスお楽しみ会・餅つき会・豆まき会・ひな祭り会
年間を通して：誕生会・避難練習・身体計測・参観日・園外保育・ももたろうクラブ・2園交流
・小学生や高齢者との交流・未就園児(花園会)との交流や園開放(週1回)

8 日課表

時間	幼児の活動
8:15	★登園（視診）
8:30	★朝の会
8:45	★なかよしタイム
9:00	★好きな遊び
10:00	★片付け
10:20	★学級での活動
11:30	★給食準備
11:40	★給食（弁当）
13:00	★降園準備をする。
13:30	★降園

◎4月9日は午前保育
(11時40分降園)
◎4月10日～3月は午後保育
(13時30分降園)
・週5回(月・火・水・木・金)
・・・給食
・月1回程度・・・弁当

「預かり保育」
13:30 にじ組へ集合
13:40 午睡
15:00 おやつ
15:30 好きな遊び
18:00 保育終了
◎預かり期間
4月2日～翌年3月30日
※但し、盆3日と年末年始5日は実施しない